

名古屋学院大学同窓会会報 名古屋学院大学同窓会事務局発行
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中ビル7階 TEL.052-242-6444 FAX.052-242-6445 http://www.ngudo.com

名古屋学院大学同窓会 35周年記念パーティーの ご案内

日 時	11月3日(祝) 18:00~20:30
会 場	名古屋東急ホテル(ヴェルサイユの間・3F)
会 費	5,000円(ブッフェディナー)

アトラクション
「モト冬樹ショー」
開催!

PROFILE モト冬樹

中学の時にベンチャーズに憧れてギターを手にする。高校卒業・大学受験の失敗を機に、小学校からの同級生だったグッチ裕三氏・実兄であるエド山口とバンドを組み、銀座・六本木界隈でクラブを中心に活動。

その後、「ローズマリー」「ジュテーム」などのグループを経て、昭和52年、グッチ裕三・ウガンダ・イタツケ島田と共にバンド「ビジーフォー」を結成、ライブハウスを中心に活躍。渡辺プロダクションの故渡辺晋氏に見い出され、本格的にコミックバンドとして始動。

昭和58年「ビジーフォー」解散。のちに「ビジーフォースペシャル」を結成、ギター兼ヴォーカルを担当。「ものまね王座決定戦」出演をきっかけに「ものまね四天王」ブームを巻き起こし、人気者に。また、個性的なキャラクターを活かして、CM・TVドラマにも多数出演している。

アトラクションは「モト冬樹ショー」



今回の記念パーティーは同窓生の皆様に広くご参加していただき、35周年のよろこびを多くの方々と分かち合いたく、有名タレントによるアトラクションを交えた気さくなパーティー形式とさせていただきます。

ごあいさつ



同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。

この度、同窓会も第一期生が卒業して以来、35年が経過いたしました。これを記念し、「35周年記念パーティー」を開催することにいたします。

せていただきます。2時間半という短いひとときではございますが、同窓生の皆様がお互いに心あたたまるコミュニケーションを図れるよう努めてまいります。

なお例年、大学祭と併催しておりました「ホームカミングデー」を、本年は開催せず、35周年記念パーティーに代えさせていただきますのでご了承ください。

ご多忙の折りと存じますが、是非ともご出席賜りますよう、お願い申し上げます。

名古屋学院大学同窓会会長 占部憲一

<p>「35周年記念パーティー」 参加申し込み方法</p> <p>同封のFAX申込用紙に所定事項を記入の上、同窓会事務局までお送りください。</p> <p>振込用紙を10月初旬に同窓会事務局より郵送します。</p> <p>振込が確認され次第、チケットを郵送します。</p> <p><small>※なお参加申し込みは先着順となります。定員超過となった場合は、参加申込をお断りする場合がありますのでご了承ください。</small></p>	<p>プ ロ グ ラ ム</p> <p>17:30 入場受付 (ヴェルサイユの間・3F)</p> <p>18:00 開演</p> <p>18:20 乾杯</p> <p>19:00 アトラクション 「モト冬樹ショー」 (約60分)</p> <p>20:30 閉会</p> <p><small>※プログラムの内容は変更となる場合があります。ご了承ください。</small></p>
---	--

11/3 大学祭会場「大学祭実行委員会ブース」にて模擬店利用無料チケット※を配布。

同窓会では、大学祭会場の「大学祭実行委員会ブース」にてご来場いただいた同窓生の方々に、大学祭に出店している模擬店でお使いいただける無料チケット※を差し上げております。

「ホームカミングデー」は開催いたしません、母校の賑やかな様子を楽しみにご友人をお誘い合わせの上、是非とも来場いただきたく、ご案内申し上げます。

※チケットの配布は、11月3日(祝)午前11時から午後2時までとさせていただきます。

期間中、多彩な行事やイベントを企画し、全学あげて大学祭を盛り上げようと大学祭実行委員会一同も意気込んでいます。



名古屋学院大学同窓生の皆様、今年も名学大祭の季節が近づいてまいりました。

今年メインテーマは「さんきゅー」。

今年が第39回ということと、お客様とお世話になって

いる皆様に対して感謝の気持ちを込めて「という意味が込められています。

期間中、多彩な

行事やイベントを

企画し、全学あげ

て大学祭を盛り上

げようと大学祭実

行委員会一同も意

気込んでいます。

名学大祭
「さんきゅー」のご案内
期間 11月1日(土)～11月3日(祝)



左から、占部会長、持田学長、下村副会長

名古屋学院大学の「教育改革」を提唱し、2002年4月に就任された持田辰郎学長。昨年の本紙上での対談から1年。「教育改革」のその後、少子化や大学を取り巻く教育環境の変化に伴う「大学改革」の行方などをテーマに、持田学長と占部同窓会会長に対談していただきました。



出席者
名古屋学院大学 学長 持田 辰郎
名古屋学院大学同窓会 会長 占部 憲一
司 会
名古屋学院大学同窓会 副会長 下村 直己

ご挨拶



名古屋学院大学
理事長
伊藤 信義

同窓会設立三十五周年おめでとうございます。日頃は本学に多くの面でご支援をいただきましてありがとうございます。紙面を借りまして深くお礼申しあげます。八月より内山理事長の後任として指名を受けました伊藤信義でございます。同窓の皆様方には今後いろいろな面でお世話

になりますし、またご心配をおかけすることもあると思いますが、今までも同様の「ご指導、ご支援がいただけるもの」と思っております。

皆様方もご承知のように、大学を取り巻く状況は猛烈なスピードで変化し続けており、それに応じた変化を求められている時代に入っています。本学も今荒波の中にいて困難な立場に立たされています。手遅れではありますが時代の流れに沿って、学部・学科の見直しを全学の協力を得て、一日でも早く実現したいと思っています。本学が今まで同様、社会に貢献できる大学として発展するよう、微力ではありますが努力させていただきます。

学長

Tatsurou Mochida

同窓会 会長

Kenichi Urabe

対談

「個性輝く大学」が 名古屋学院大学の理想像

「学長が提唱されている「教育改革」は、1年前と比べてどのように進展していますか。

持田学長(以下学長に略) 1年前と比べて「教育改革」は着実に進んでいると考えています。画一的な教育指導ではなく、学生一人一人の実態に即した形で行っていくと現在さまざまな取り組みを鋭意行っています。例えば、商学部にも本年度から少人数クラスを導入したことなどはその一例です。編成はゼミと同規模。このクラスの利点は、一人一人の学生と

話をし指導していく中で、教員も今まで以上に学生たちの状況が把握できることに尽きます。少人数クラスは仕掛けの一例で、他にも取り組みはたくさんありますが、目に見える成果を出しながら、4年間という限られた時間の中で社会に通用する人材を育てるために、まだまだ試行錯誤している段階です。基本は「一人一人の顔が見える教育」を行います。行いながら、学問を学ぶ意味や学生生活の基礎を教えていくというのが主旨です。今の学生気質は、同窓生の方々が学ばれた頃よりかなり変化しています。ある意味で、大学に入学してから「学ぶよろこび」をこちらから学生に提供していく必要があります。そ

こには適格な指導と方向付けが重要なポイントとなっています。

占部会長(以下会長に略) 学生の実態に即した適格な指導と学生生活への方向付けというお話は、確かにその通りだと思います。社会に身を置く私たちから見ても、今の学生像は、一般的に大学で学ぶ姿勢に対する焦点がブレているような気がしてなりません。その意味でも、「二人一人の顔が見える教育」を推進していただくことは、学生を受け入れる側として大変評価できると思います。

学長 今、お話しさせていただいたことはまだ

スタートの段階ですの
で、今後さらに
果を出していかないといけないと痛感しています。



「教育改革の現在と今後のポイントについてお話しいただきましたが、今、大学は国公立大学の統合や法人化などをはじめ、少子化の影響も含めて大きな動きが起ころうとしています。あらゆる大学がまさに正念場を迎えていると思います。が、名古屋学院大学を今後どのように発展させ、か生き残りを図ろうとされていますか。

学長 一言で表すなら「個性輝く大学」を目指すことです。従来の大学モデルは、国公立大学



が押し進める路線と、私立大学の打ち出してきた独自色を併せたイメージで作られてきました。しかし、どの大学も基本的にはほとんど同じような路線を歩んできたと思います。校風などによる色合いの違いはありますが、今後ともっと個性を出さないといけないだろうと考えています。同じ学問を学ぶにしても、名古屋学院大学は他大学とはこんなに違うという点をどれだけ打ち出していけるか。本学の生き残りはこの点にかかっています。

会長 「一人一人の顔が見える教育」と「個性輝く大学」というキーワードを述べていただきましたが、具体的な事例があれば教えてくださいませんか。

学長 学内と学生をネットワークで結ぶ「※キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」というものが今年度から本格的に稼働しています。これは既に昨年度から試験的に始まっていますが、このシステムが他大学を差別化する、大学の大きな個性であると考えています。いわゆるコンピューターを駆使したネットワークシステムで、「二人一人の顔が見える教育」を行う上での強力なハードウェアとなっています。これはまだ他大学にはない教育支援システムであり、本格的稼働させているのは本学が全国唯一です。

全国唯一 双方向ネットワークシステム

「本学の同窓生として、母校が全国唯一のシステムを持っていると聞いて大変うれしいのですが、※キャンパスコミュニケーションシステム」とは一体どのようなものですか。

学長 基本的にCCSは、学生・教員・大学事務局の3者の間で自由な双方向コミュニケーションが行えるシステムです。学生・教員・事務局職員の全員の顔写真が付いた、ポータルサイトとい

う専用画面を持っていて、一人一人に直接関係した情報のみ伝達されるわけです。あらゆる連絡事項が自由自在に、しかも特定の人あるいは特定の人数に伝えることができます。例えば、あるクラスで3人の学生が講義を欠席したとして、それに対する連絡事項はその3人だけに伝達されます。単なる連絡事項だけでなく、履修登録やレポートの提出、資料のダウンロードもできます。情報のキャッチボールが簡単かつスムーズに行えるようシステム化していますから、その利便性はかなりのものであると自負しています。

会長 つまり、双方向性を持つネットワークシステムなんですね。CCSは全国唯一の教育支援システムであると先程言われましたが、他大学にもコンピューターネットワークを使ったシステムは存在すると思います。他大学との明確な違いは何ですか。

学長 双方向性を持つということ、インターネットを活用し、いつでも、どこでも、自由にやりとりができる点です。学生の9割近くが携帯メールアドレスを登録していて、必要な情報がパソコンでも携帯でも受けられるようになっています。他大学にもインターネットを使ったシステムはありますが、本学のように双方向性を持っていません。休講情報を携帯電話やパソコンに送信するのみの事務連絡システムはよく見かけますが、これは初歩の初歩です。CCSでは学生からの返事もレスポンス良く返ってきます。

会長 大変素晴らしいシステムであることはわかりました。例えば、CCSを講義で活用することはないのでか。双方向性という意味で

はかなりのことができそうに思えますが。

学長 実際にコンピューターを使っている講義では活用されていますね。ある問題についての場で学生に答えさせたとしても、教員は全員の間でその場でわかりますから、学生一人一人の理解度を把握した上で、次のステップに進んでいきます。また、予習・復習についてもCCSですべてできるようになっています。予習・復習の教材をCCS上にセットしておけば、学生は自由にそれを出して問題を解き、採点も自動的にできるようになっています。しかも、教員側はどの学生が問題をどのように解き、理解力がどれ程あるか確認することもできます。ある教科で統計分析をしたところ、CCSで予習・復習のトレーニングをした学生ほど、適格に成績が上がりつつあるというデータも出ています。

会長 学生・教員・事務局職員のコミュニケーションが実際にスムーズで効果的なんですね。顔写真も付いているから、一目で誰かもわかるという…。CCSはまさに「二人一人の顔が見える教育」を行い、「個性輝く大学」にしていける取り組みといえますね。



本学ホームページ 「使いやすい」で全国2位!

「この他に新しく取り組んでいることがあればお話しいただけますか。」

学長 今年度から「特色ある大学教育支援プログラム」がスタートしており、本学もCCSで「特色ある大学教育プログラム」、いわゆる「教育トップ100」と呼ばれる大学枠に入るよう、現在、文部科学省に申請中です。これは数ある全国の大学の中から約1割しか認定されないもので、是非とも選ばれて、全国に名古屋

学院大学の魅力をアピールできる起爆剤にしたいと願っています。

会長 話は変わりますが、本学のホームページが朝日新聞の關係誌で好評価を得たと聞きました。これについて教えてくださいませんか。

学長 朝日新聞の「大学ランキング2004」という本の中で、「ホームページの使いやすさ」という項目で本学ホームページが全国2位の評価をいただきました。元々、本学は情報教育に強い大学ですので、これが証明されたという意味でも、この成績は大変よろこばしいことでした。

同窓生子弟対象AO入試スタート 大学ファミリー形成に是非受験を

「最後に、今年から「同窓会子弟対象AO入試」が始まりましたが、この点について一言。

学長 同窓生子弟を対象にしたAO入試を始めさせていただく上での主旨は、同窓生の方が持たれる「こ子弟を本学に入学させたい」というお気持ちに是非お応えしたいということに尽きます。基本的に本学のファミリーは、同窓生の方ご父母の方で形成されていると考えていますので、その絆をもっと強固にしていきたいということです。

会長 大変お忙しい中、貴重な時間をいただきました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

※「キャンパスコミュニケーションシステム」の詳細は、本紙P6に掲載しています。

Profile

名古屋学院大学 学長
持田 辰郎
1952年生まれ 島根県出身

東京大学文学部卒
1982年 本学経済学部講師に就任
1993年 教授に就任
2002年 名古屋学院大学 学長に就任
●研究分野 西洋近代哲学

活躍する同窓生



公共に尽くす 公僕として 四半世紀

愛知県議会議員(民主党)

塚本 久氏



愛知県議会議員であり、名古屋学院大学同窓会理事でもある塚本 久さん(昭和45年卒業)。31歳の時に選挙に初出馬(昭和54年)して発展、連続7期にわたって当選。先頃、多年にわたり地方自治の進展に功労があったとして、藍綬褒章を受章されました。塚本さんにとって政治とは、また政治家を目指したきっかけとは…。議員歴25年目を迎えた今の心境を伺った。

県議会議員歴25年目の情熱

塚本さんが政治家を目指したきっかけは、愛知県議会議員であった父親の影響が大きいという。大学時代から印刷会社を営んでいた実家の仕事に経営者として携わりながら、父親の秘書も務め、「政治がより良い社会の発展のために重要な役割を果たしている」ことを父親の後姿から学んだと語る。「政治家は男としてやり甲斐のある職業である」と常々思っており、35歳を目標に選挙に打って出る青写真も描いていた。世にいう単なる二世議員ではないことを証明する、若くして明確な信念を持つていたようだ。しかし、父親の病气により、31歳にして選挙に初出馬。初当選から連続7期にわたり議席を確保されている。政治家を志した若き日の思いそのままに、「地域や社会、人々の生活を向上させていくためには政治家が粉骨砕身して頑張らねばならない。公共に尽くす公僕として、能力のある限り努力する」という姿勢を貫いている。議員歴25年目とい



31歳で初めて選挙に立候補した時のポスターとパンフレット

う長き年数を経ても、塚本さんの政治への情熱は決して醒めることがないようだ。

県民のより良い生活環境づくりをお手伝い

今年4月の県議会議員選挙で、塚本さんは3つのマニフェスト(選挙公約)を打ち出した。

- ① 中小企業の再生支援に対して総合的に取り組む
- ② 癌治療の向上を図るため「愛知県がんセンター」の施設充実、バリアフリー社会の整備
- ③ 2005年の愛知万博「愛・地球博」の成功と万博後の新産業「産業観光」の育成

いずれも愛知県民にとって身近なテーマである。もちろん、独りよがりな政策を創り出すのではなく、県民のより良い生活環境を念頭に人々の声を聞きながら考えていく予定のようだ。この姿勢にも「相手の話をよく聞くこと」をモットーにする塚本さんの政治信条がよく表れている。

行動で信念の実現を

しかし、塚本さんにとって大きな悩みがある。それは慢性化する国民・県民の政治不信。「政治は皆さんの地域や社会を良くしていく推進力を持つもの」なので、もっと皆さんに政治への関心を深めてほしいと訴える。「誰もが多様な立場や主張を持っているはずだからこそ、政治に無関心になつてはいけない」とも。誰もが100%納得できる解決策はなかなかない、そこで多くの方々の意見を聞き、よりベターな施策を打ち出していく。「皆さんが自ら行動し、政治に参加することで、まだまだ社会は良くなる可能性を秘めている」と話す塚本さん。

まずは自ら掲げた3つのマニフェスト実現に向けて努めることで、「政治がより良い社会の発展に重要な役割を果たす」という信念を行動で示していくようだ。日頃、政治を身近に感じにくい今、我が同窓生の語る話には耳を傾ける要素が多々あるように思える。激動する社会の流れに身を置く私たちが、政治と面と向かつて真剣に対峙することの大切さを味わせていただいた取材となった。



愛知県議会における民主党代表質問を行う塚本氏



活躍する同窓生



オアシス21オープン記念番組 NHK「おしゃべりランチ」出演

感動を伝える
表現者でありたい

トランペットとの出会いは小学校4年生の時、ブラスバンド部で。その音色に魅せられて以来、トランペットとつきあっているという。ジャズの世界に飛び込んだのは中学校1年生、彼女の非凡な才能に対して地元のプロのバンドにスカウトされてから。デキシーランドジャズを中心とするそのバンドに所属し、メンバーと一緒に世界各地を旅する。デキシーランドジャズの本場アメリカニューオリンズで、「観客と一緒に心から音楽を楽しんでいるミュージシャンの姿を目

のあたりにして、音楽が人を幸せな気持ちにできる力を感じたこと」がジャズへの傾倒を決定づけた。現在、デキシーランドジャズのバンドとラテンバンド、そしてソロと、いわば三足のわらじを履き精力的な活動を続けている。

中村さんにとって音楽とは、「自分の中で高まってきたもの、感動したものを素直に表現しながら、聴いてくれる人々と同じ感動を共有する出合いの場」であるという。敬愛するレイ・アームストロングのように、「音楽を通して生きざまや、すべての人々に対するあたたかい愛情を表現できるような音楽家＝表現者でありたい」ともいう。

一人の人間として、音楽家として、深みを持ちたい

ライブでは、「観客と一緒に時間を共有し、音楽を通じてみんなの心が開放的で、純粹に幸せな気持ちになれたら最高」だという。技術的にはまだまだ勉強中とはいいが、音楽に対する真摯な考え方はまさにプロ。自分が感じたこと、伝えたいことを、しっかり表現するために「一人の人間として、音楽家として、も



ジャズトランペッター

中村好江氏

前向きでひたむきな
魂の持ち主

平成10年、名古屋学院大学外国語学部在籍の女子学生が、ソロのジャズトランペッターとしてプロデビューを果たした。彼女の名前は中村好江さん(平成13年卒業)。中学生の頃からデキシーランドジャズのプロバンドでも演奏していた中村さん、大学卒業後、各地のイベントやフェスティバル、ライブハウス等で精力的に活躍している中村さんの音楽観とは…。



「花フェスタ」野外コンサートにて

出合いを大切に、これからも

っと深みを増していくことが大切」だと痛感している。人との出合いが人間を成長させる、その重要性を知っている彼女は「一瞬一瞬の出合いを真剣勝負のようにとらえている。明るく笑みを絶やさない今どきの若い女性のように見えるが、素顔は自分の在るべき姿をしつかり見つけた、芯の強い前向きな女性だ。

そんな中村さんのライブは、世代を問わず心に訴えかけるパッションに満ちたもののように、観客から「ジャズのことにはよくわからないが、自分の人生に対して何か生き甲斐を見つけたような気がする」というコトバが飛び出したエピソードからも伺いしえよう。この9月から再び精力的なライブ活動を展開する中村さん。一度彼女の音楽に接してみたい、と思わせる魅力を備えたジャズトランペッター。どこかのライブハウスで、イベント会場で、「中村好江」の名前を見かけたら、彼女との出合いの場に追加してはいかがですか。

活躍する同窓生募集!

名古屋学院大学同窓会会報「ngudo.com」では、各分野でご活躍される一芸に秀でた同窓生の方々の情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいらっしゃれば、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、トップページの「DO BOX」をご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局
☎052-242-6444 FAX 052-242-6445
◎同窓会ホームページ
<http://www.ngudo.com>



双方向ネットワークシステム本格稼働 「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」

21世紀の新たなキャンパスのあり方として、IT(情報技術)と融合したキャンパスが求められていますが、名古屋学院大学では今年度から学生・教員・事務局の間をコンピュータネットワークで結ぶ「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」を本格稼働させています。このCCSでは、ネットワークを駆使して学生・教員・事務局の3者間でそれぞれ双方向にやりとりできるのが特徴です。

実用例として、事務局から学生への呼び出し情報や休講情報、就職情報などの事務連絡、学生からの履修登録やレポート提出、講義のアンケートの回答や教員への問い合わせ・質問などが行われています。教員も学生の成績入力にCCSを利用、学生個人へのメッセージの発信も可能。自宅からインターネットを通じて接続することもでき、大学に関するあらゆる情報をお互いに共有することができます。

名古屋学院大学では、'96年から全学生にパソコンを配布しており、パソコンと大学教育の融合を考えたことがCCSの出発点となっています。このCCSは、いわば大学の電子キャンパス化であるといえ、学生個人の受講内容や成績のデータをもとに、一人一人に必要な情報をケアしながらやりとりができるのが特筆ものです。

学生に人気なのは、インターネット機能がある携帯電話からも接続できる点。スクールの時刻表を見たり、毎朝休講情報や事務局からの呼び出しメールが届く。全学生約4,300人のうち約3,800人が登録。CCS本格稼働から数カ月で早くも学生に浸透しはじめています。

このCCSは、学生・教員・事務局間のコミュニケーションの向上や教育支援まで視野に入れた、他大学に先駆けた全国的にも類のないシステムとして、現在、教育関係者から熱い注目を浴びています。

CCSが

最先端企業で評価され 最優秀賞を受賞

「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」が、東海地区でも最先端を行く一流企業が参加している「Beacon IT ユーザ会」の第20回ユーザーサミットで、最優秀賞を受賞しました。

「学生・教員・事務局の3者を情報ネットワークで結ぶことにより、従来の対面教育・対面指導に加えて、時間と距離を超えた教育・指

導ができる。学生にとっていかに役立つかが必要情報にアクセスできる」というCCS開発コンセプトが高い評価を受けました。

「Beacon IT ユーザ会」は、名古屋学院大学も参加しているADABAS/NATURAL(データベース)の日本販売元であるBeacon IT(ピーコン・アイティーBIT)が事務局として活動しているユーザー会で、参加企業は341社。中部地区ではINAX、トヨタ自動車、トヨタ車体、豊田自動織機、中部電力、UFJ銀行、ヤマザキマザック、岡谷銅機、東邦ガス、日東工業ほか加盟しています。

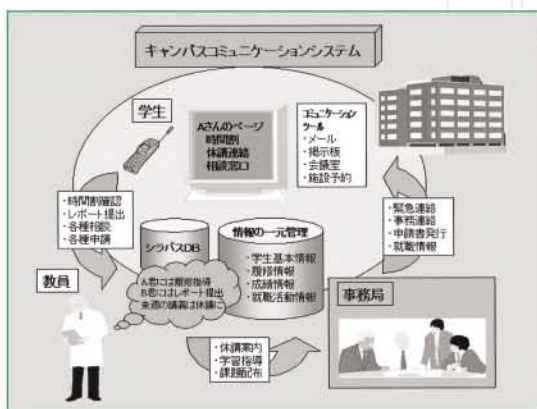
文部科学省

「特色ある大学教育支援プログラム」に CCSなど本学の情報教育を申請

文部科学省は2003年度から教育に特化した大学を選定するため、「特色ある大学教育支援プログラム」事業を実施します。このプログラムは全国の国公私立(700余校)から100校しか選定されないことになっています。

名古屋学院大学は国際交流や社会人大学院、まちづくりなど特色のある教育を多く行っていますが、1校1件という制約の中で「情報教育」を選択しました。

名古屋学院大学の全国的にも優れた情報教育の実績や、独自に開発し今年度から本格稼働させている「キャンパスコミュニケーションシステム(CCS)」を盛り込んだ内容で現在申請中です。



実力派ビジネスマンを育成 情報ビジネスコミュニケーション学科 本年度4月より商学部設置

名古屋学院大学はこの4月、商学部部に「情報ビジネスコミュニケーション学科(情報BC学科)」を設置しました。これにより3学部6学科の学部教育体制となります。

情報BC学科は、これまでの商学部の教育実績である基本的な商学、経営学の他に新たに国際社会、情報社会に対応した

専門知識を習得し、社会の多様なニーズに応えられる実践的かつ実務的な「実力」を身につけ、社会の中で「実力派ビジネスマン」として活躍できる人材の育成を目指しています。そのため、学生の希望により選択

できる2つのコースが用意されています。

●**経営情報コース**
商学と情報の両分野を学び、経営の知識やビジネス感覚を活かしてコンテンツや情報システムを開発するなど、即戦力の人材を育成します。

●**ビジネスコミュニケーションコース**
アジアや欧米におけるビジネス事情を学ぶとともに、日本とは異なる文化を理解できる視野と、ビジネスの最前線に役立つ外国語を習得。また、留学教育の導入も行っています。





父母会卒業記念事業「登り窯」が設置される

2002年度父母会卒業記念事業として、「登り窯」が陶芸館敷地内に築窯されました。

この「登り窯」は「創造窯」と名付けられ、昨年11月3日に父母会役員、学内関係者の出席のもと、贈呈式、火入れ式が挙行された。



れました。この「登り窯」は、2つの焼成室をもつ、薪焼方式の連房登窯で、抹茶茶碗の場合一度に500個ほど焼くことが可能です。

かつて「焼き物の街」瀬戸において活躍した登り窯ですが、現在はほとんど姿を消した登り窯としては非常に貴重なものです。昨年末には、陶芸部員による初めての焼成が、4日間にわたり夜を徹して行われ、ガス窯や電気窯とは違う、味わい深い作品が出来上がりました。

今後は、名古屋学院大学学生のみならず、地域社会にも開放していく予定です。窯業の街に位置する名古屋学院大学のシンボルのつとなりました。

名古屋学院大学が

TV番組で紹介 「自分さがしプロジェクト」

名古屋学院大学の学生たちが課外活動を通じて成長していくさまを、ドキュメント風に描いた「自分さがしプロジェクト」が、10月11日(土)に放映されます。同窓生の皆様も、母校の学生たちの生き生きとした様子を是非ご覧になってください。

■放映日

10月11日(土)午後2時30分～午後3時

■放送局

- | | |
|--------------|------|
| メーテレ(名古屋テレビ) | 東海地区 |
| 静岡朝日 | 静岡地区 |
| 長野朝日 | 長野地区 |
| 北陸朝日 | 石川地区 |

名古屋学院大学ホームページ

「ホームページの使いやすさ」で全国2位

朝日新聞発行の「大学ランキング2004」において、Webサイト項目内の「ホームページの使いやすさ(閲覧環境への配慮)」において全国2位の評価を得ました。「一覧性、検索可能性、ナビゲーション、選択可能性、インタラクティブ(双方向)性」の5つの評価で75点満点中63点を獲得。



Webサイトの充実
は大学改革のバロメーターでもあり、IT(情報技術)に強い名古屋学院大学の特徴が広く認められた形となりました。

シティーカレッジ2003 特別講座

「天と地のひびき」のご案内

名古屋学院大学エクステンションセンターでは、来る11月12日(水)に「シティーカレッジ2003」の一環として、パッハとモーツァルトの生涯と作品をテーマにした特別講座「天と地のひびき」を開催します。講師は、ドイツ文学者で中央大学名誉教授の小塩 節(おしおたかし)氏。入場無料ですので、皆様是非ともご参加ください。

■日時

11月12日(水)午後3時30分～午後5時

■会場

名古屋ガーデンパレス「明倫の間・3F」
(地下鉄「栄駅」1番出口から徒歩5分)

■受講料

入場無料(申込受付あり)



●お申し込み及びお問い合わせ先
名古屋学院大学
エクステンションセンター
TEL 0561-42-1096
FAX 0561-42-1097
ホームページ
<http://www.ngu.ac.jp/>
Eメール
nguec@ngu.ac.jp

名古屋学院大学 2つのAO入試はじまる (一般・同窓生子弟)

名古屋学院大学AO入試の体験入学が8月22日(金)～25日(月)の4日間実施されました。AO入試は国公立大学をはじめ多くの私立大学で実施されるようになり、名古屋学院大学も本年度で5回目を迎えます。全国的にみてAO入試による大学入学者の割合はまだ少ないですが、一般入試、推薦入試に次ぐ入学試験として受験生に定着してきている昨今です。

名古屋学院大学のAO入試は夏休み中に4日間の体験入学を実施し、参加者を20名以下の少人数クラスに分けて授業を行い、複数の教員がじっくりと評価する方法です。この方法は参加者側にとっても、大学をチェックできる貴重な場となります。AO入試は実施以来、申込者数が増加し続けていましたが、最近の18歳人口減少の影響もあり、2004年度は前年度に比べてやや減少しました。それでも申込者は250名を超え、他大学に比べ依然多くの申込者を集めています。体験入学の適切者は9月6日(土)に発表され、次の段階として面接試験が10月18日(土)に行われます。

また、AO入試に関しては、卒業生の方々のご子弟を対象に「同窓生子弟対象AO入試」を新設しています。9月23日(火)祝にセミナーおよび面接を実施し、適切とされた者に対し、10月18日(土)に面接試験を行います。卒業生のご子弟が入学されることにより、名古屋学院大学ファミリーとしての絆を結んでいただけるものと期待しています。

同窓会ホームページ

「ngudo.com」リニューアル

同窓会独自のホームページ「ngudo.com」が、開設4年目を迎えました。3万人を超える同窓生の皆様に同窓会の活動をネット上でお知らせするとともに、ホームページを同窓生交流の場として有効利用していただきたく積極的に運営を行っております。

本年7月、名古屋学院大学同窓会ホームページ「ngudo.com」はリニューアルいたしました。トップページには最新情報を掲載し、同窓会の最新動向が一目でわかるようにデザインされています。また、各情報はツールバーに表示しています。「会長」「オフィス」「アドレス」「アイデア」「イベント」「支部」「会報」「役員」「キヤンパス」「掲示板」「リンク」「校歌」「学長」の13項目が並び、知りたい情報へ簡単にジャンプできるようになっています。

同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力頂けるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入して頂いた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないということとなっております。

なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しく願います。

年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりと財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会費は、同封の振込用紙をご利用の上、二口以上のお振込をお願い致します。

●年会費二口 2,000円 ●終身会員費 1万円以上

既に終身会員の方は不要です。

編集スタッフ

〈担当副会長〉山本茂一(70年卒)

〈広報委員長〉戴下靖浩(82年卒)

〈副委員長〉安藤憲八郎(80年卒)

〈事務局長〉長瀬憲八郎(71年卒) 〈事務局〉豊田登志子

本会報をお読みの同窓生の皆様、是非とも同窓会ホームページにアクセスしていただき、活発な情報交換の場としてご利用ください。また、活発な情報交換の場としてご利用ください。また、活発な情報交換の場としてご利用ください。また、活発な情報交換の場としてご利用ください。

主なコンテンツ

- ↑ トップページ
- ↑ アドレス入力ページ
- ↑ DO BOX (アイデア入力) ページ

インフォメーション
同窓会事務局では、皆様のご意見・アイデアをハガキ・FAXでもお待ちしております。「ngudo.com」同様、お気軽に投稿ください。

支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。ホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

三重支部 〒519-0413 三重県度会郡玉城町 妙法寺345-1 中野隆自(71年卒) TEL0596-58-2191	関東支部 〒145-0071 東京都大田区田園調布 1-10-3 1102 榎原金市(70年卒) TEL03-3721-2309
中国・四国支部 〒712-8003 岡山県倉敷市水島 明神町2-46 藤原一致(71年卒) TEL086-444-5252	関西支部 〒544-0025 大阪市生野区生野東 1-1-37 中川博嗣(68年卒) TEL06-712-3574 (中川登記測量事務所内)

岡山・岐阜・北陸・静岡支部 〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階 TEL052-244-6444 FAX052-244-6445
--

新たに4支部開設準備中

同窓会事務局では、新たに岡山支部、岐阜支部、北陸(石川・富山・福井)支部、静岡支部の設立を準備しています。現在、支部長及び役員になっていただける同窓生の方を募集中です。自薦他薦を問いません。たくさんの立候補をお待ちしています。

関東支部総会開催
 平成15年11月24日(月・休日) 12:00~16:00
 会場/都内レストラン
 内容/①横井教授の特別講演会 ②懇親会
 会費/5,000円
 ※関東支部会員には事前に案内状を発信。
 問い合わせ先 関東支部支部長 榎原金市
 TEL&FAX 03-3721-2309

大学歌CDを作成

2002年度大学祭「同窓会ホームカミングデー」に間に合わせるべく、大学歌「曙の空」希望羽ばたくがCD化され、同窓生の前で披露されました。「曙の空」が大正14年9月制定、「希望羽ばたく」は昭和34年9月制定されており、本学の建学の精神「敬神愛人」を受け継いだ大学歌として、同窓生の方々には馴染み深いと思います。

是非この大学歌を聴いてみたい、歌ってみたいという方は、CDを無料で差し上げています。キリスト教センター事務局までお申し出ください。

間もなく大学創立40周年を迎えようとするこの機会に、名中・名高を含む1887年以来120年近くの建学の歴史を考えたながら、大学歌を歌ってみませんか。



住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不定による郵便物の返送がかなりの数発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡頂くか、同窓会ホームページの「アドレス入力ページ」にて変更して頂きますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方をご存じの場合も、同様にご連絡頂けますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
 〒460-0008
 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階
 TEL052-244-6444
 FAX052-244-6445
 ※同封の住所・勤務先等変更ハガキをご利用ください。
 同窓会ホームページアドレス <http://www.ngudo.com>

同窓会員の皆様へ注意

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。